

# 平成 29 年度報告 横浜市青少年育成センター

## 1 施設の管理運営

青少年育成活動に取り組む指導者・育成者や青少年育成団体等が、円滑な活動や先駆的な取り組みを行えるように、会議室や印刷室などの貸出および様々な活動の相談対応を実施しました。関内ホールの工事に伴う一時移転の影響で利用団体が減少していますが、利用満足度は高水準を維持することができました。

利用団体数：3,408 件／年  
稼働率：62.1%  
利用団体前年度比：67.7%

### 【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用団体	利用人数	印刷室利用	相談件数	稼働率
26	338 日	5,020 件	63,054 人	572 件	114 件	74.1%
27	339 日	5,143 件	64,686 人	637 件	77 件	75.7%
28	338 日	5,033 件	59,449 人	730 件	51 件	74.3%
29	325 日	3,408 件	44,258 人	410 件	40 件	62.1%

※29 年度は関内ホール工事のため、12 月から仮施設で運営をしています。

## 2 施設の主な事業

### (1) 青少年を支える人材の育成（講座・研修、シンポジウムの実施）

青少年を支える地域人材の育成について、これまでの成果と課題を踏まえながら、講座・研修やシンポジウムなどに取り組みました。

講座・研修では、ニーズの高い「発達障害の理解」や「コーチング入門講座」に関しては引き続き実施しました。また、ここ数年間で虐待やひきこもり、非行等、青少年が抱える困難な課題をテーマとした研修会が多く開催されるようになりました。そこで、新たな研修ニーズや参加者の発掘を視野に入れて、「子どもの事故予防」をテーマとした研修を専門研修として新規に実施しました。

実施している研修内容が全体的に固定化されつつあるので、他で行われている研修会や講座の情報を収集し分析を行い、先駆的な研修や講座を届けられるよう事業展開の見直しを行いました。

### (2) 青少年育成活動等に関する情報の収集・提供（相談・情報提供など）

助成金や研修・施策情報などの青少年活動を支援する情報は、HP や情報紙を通じて発信するほか、窓口を訪れた方々や相談対応においても活用してきました。しかし、相談件数は年々減少しています。育成センターでは「何が相談できるのか」「どんな情報が得られるのか」など明確かつ具体的な内容を発信できるように相談対応や情報提供の整理を行うとともに、相談窓口と情報コーナーの存在を知ってもらうための広報策を検討していきたいと思えます。

2 月に実施した「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」では約 50 団体が一堂に会し、テーマ別の話し合いなどを通じて、ネットワーク化を推進し、各団体の活動の充実に寄与しました。



団体数	稼働率	コマ数	利用人数
2,844	66.8%	4,256	35,682

## 《目標設定時公表項目》 平成 29 年度 横浜市青少年育成センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、施設の貸出や青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率 70% (前年度年間目標：75%) ②相談・情報提供業務 年間 100 件 (前年度年間目標：120 件) ③「相談対応事例集」の作成
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を養成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①青少年育成に関する講座・研修等への参加者が延べ 590 人以上。(前年度年間目標：600 人以上) ②課題やニーズを把握し、反映したネットワークの立上げ：2 組織 (発達障がい、ユースワーク)
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①専門研修への延べ参加回数が 6 回以上。 1 回以上の内部研修の実施 ②避難誘導訓練 年 1 回、 AED 講習会 年 1 回
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 155 万円 (前年度年間目標：229 万円) ②事業収入 108 万円 (前年度年間目標：99 万円)

## 《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組 (改善計画)
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率：70% ②相談・情報提供業務年間：100 件 ③「相談対応事例集」の作成	①62.1% ②40 件 ③事例分析を実施	①-7.9% ②-60 件 ③なし	①Wi-Fi 設置など新たな活動支援を展開し、利用者増加を図ります。 ②相談窓口や情報コーナーの積極的な PR に努めます。
業務運営	青少年に向き合う地域人材を養成します。	①講座・研修等への参加者が延べ 590 人以上。 ②ネットワークの立上げ：2 組織	①537 人 ②居場所ネットワーク	①53 人 ②-1 団体	研修参加者の減少が見られるため、テーマ設定や広報計画を見直し、新たな参加者の確保に努めます。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①専門研修への延べ参加回数が 6 回以上。1 回以上の内部研修の実施 ②避難誘導訓練 年 1 回 AED 講習会 年 1 回	①外部研修 7 回 内部研修 1 回 ②避難訓練 1 回 AED 1 回	①なし ②なし	①外部研修に積極的に参加し、外部情報の収集及び職員の資質向上に努めます。 ②緊急時でも落ち着いて対応できるよう定期的に実施します。
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 170 万円 ②事業収入 98 万円	①155 万円 ②108 万円	①-15 万円 ②10 万円	①SNS 等を活用し、リアルタイムな情報発信に努めます。 ②プリントルームの活性化など財源の安定的な確保に努めます。

A 青少年活動を支援する事業 あ 施設貸与

事業名	実施日	利用件数	利用人数	備考
<b>1 利用者案内、利用相談、受付</b> ●会議室、スタジオ等の貸出 ・貸し出し、利用相談 ・育成団体登録時の相談実施	4～3月	3,408件	44,258人	・件数内訳) 青少年 175件 育成団体 1,093件 一般 1,929件 法人利用 211件  ※登録件数(合計)394件 うち青少年 38件 育成団体 79件 一般 277件
●HPによる情報提供	随時			・優先(抽選)予約状況(3か月前、毎月) ・スタジオ空室状況(2か月分・週1回更新および随時) ・スタッフブログ(利用促進の一環として月1回更新)
<b>2 施設での活動支援、安全・衛生環境管理</b> ●非常用物品の確認・点検 ・各室非常灯の点検、救急箱の点検 ・部屋貸し出し時の避難経路案内	毎月 随時	—	—	・地震および火災時の対応 非常灯表示及び非常灯電池交換 ・HPによる案内(帰宅困難者一時 滞在施設) ・備蓄品の購入と保管(水、軽食)
●避難訓練の実施	6/1、2/16	年2回	—	・避難誘導・通報訓練を実施
●スタッフ救急研修	5/19	年1回	—	・AED講習会を実施
●修繕等の実施 ・ピアノ調律(スタジオ、第1研修室) ・小破修繕(B1パントリー蛇口等)	・6/14 ・5/2	年1回	—	スタジオ機材の交換、修理(随時)
<b>3 利用者サービス向上のための取り組み</b> ●活動支援室(プリントルーム)事業	4～11月	410件	—	印刷機/コピー/ラミネートサービス 製本作業等の活動支援事業 ※移転後は未実施
●館外貸出物品事業(着ぐるみ)	4～11月	11件	—	※移転後は未実施
●利用サービスの検証・向上 ・広報紙「馬車道通信」の発行	毎月	7回	月1回発行	館内掲示、配架、HPに掲載 11月で廃止
●利用者アンケートの実施	①10/1～31 ②2/1～28	①81件 ②79件		・利用状況や利用のきっかけ、サービス等 について調査。育成センターならびに代替施 設それぞれで実施。

A 青少年活動を支援する事業 え 相談・助言

事業名	実施日	件数	備考
<b>1 青少年育成に関する相談・情報の収集と提供</b> ●相談・コーディネート	4～3月	40件	・窓口、電話、Eメール、受講者カード ・HP、広報紙等での発信
●情報のデータベース化、案内表示等の整理	随時	—	・助成金情報および講座・研修情報、ボランティ ア活動情報、青少年に関する施策・トピック をHPにて掲載更新(月2～3回) ・分野ごとにファイリング(閲覧用、随時)
●相談・助言の対応の向上 (スタッフスキルアップ研修等)	毎月	12回	【研修内容】 ・月例会議でのケースカンファレンス(毎月)

事業名	実施日	参加人数	備考
●HPによる情報提供	随時	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年情報ページの更新（月8回以上） （助成金、講座・研修情報、統計・施策等のトピックス情報の掲載）</li> <li>・活動レポートの掲載</li> <li>・青少年向けのボランティア活動情報の提供</li> <li>・ボランティア情報の掲載依頼フォーム</li> <li>・HPからの研修申込みフォーム</li> </ul>
<b>2 青少年育成活動情報交換会</b> <b>「よこはまユース・ゼミ」</b> ①発達障がい理解と支援 ②小学生の子どもとの信頼関係を作る ③居場所としてのこども食堂の今 ④小学生の子どもとの信頼関係を作る ⑤中高生との信頼関係をつくる	①8/4 ②1/26 ③2/15 ④2/20 ⑤3/6	①28人 ②3人 ③12人 ④2人 ⑤2人 計47人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年活動者間のゆるやかなネットワークづくりを目的に、メンバーを固定せずに青少年に関わる人たちが気軽に集まり、少人数制で学ぶ機会を設けた。</li> <li>・今年度は、「居場所」をキーワードに子ども食堂など今、話題となっている分野で関わる方々のネットワークづくりを支援した。</li> </ul>

## B 青少年を支える人材を育成する事業 い 講座・セミナー・育成

事業名 <>は事業の柱名	実施日	参加人数	備考
<b>&lt;スキルアップ講座&gt;</b> <b>「広報・記録のためのデジカメ写真入門講座」</b> ・講師：大向哲夫氏（写真家） ・参加費：2,000円	6/15	30人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者にいかに関活動の様子を効果的に伝えるか、Webや記録・報告書等に掲載する写真撮影の技術やポイントを、フィールドワークを交え実践的に学ぶ機会を提供した。</li> </ul>
<b>&lt;スキルアップ講座&gt;</b> <b>ユースワーカー基礎講習</b> <b>「小学生の子ども」との信頼関係の作り方</b> ・講師：杉野 聖子 （江戸川大学総合福祉専門学校） ・参加費：2,000円	①6/22 ②6/29	①29人 ②31人 計60人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年支援に携わるユースワーカーとしての基礎知識を学ぶ機会を提供することで、青少年と関わる人材の質の向上を図り、青少年育成活動の充実を目指した。</li> <li>①子どもの理解・支援のポイント</li> <li>②子どもの”声”をキャッチするには</li> </ul>
<b>&lt;スキルアップ講座&gt;</b> <b>「発達障がいの子ども・青少年の理解と支援～捉え方・特徴・支援のコツを学ぶ～」</b> ・講師：中本テリー（臨床心理博士） ・参加費：1,000円	①7/13 ②7/18	①55人 ②53人 計108人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「発達障がいの捉え方・特徴・支援のコツを学ぶ」をテーマに、脳のしくみや当事者の困難さなどを理解し、青少年やその家族への支援のあり方を考えた。</li> <li>※当初定員を1回につき、50人と設定したが、想定を超える申込みがあり、講師と相談し結果、会場の定員である70人を受け入れることにした。しかし、当日キャンセルが多く、各回50人ほどに減少した。</li> </ul>
<b>&lt;青少年人材養成研修&gt;</b> <b>青少年の居場所づくり講座</b> <b>「『また来たい』が聞こえる空間づくり」</b> ・講師：①NPO法人れんげ舎代表理事 長田英史 ②見学先：「CASACO」 ③見学先：「片倉うさぎ山プレイパーク」 ④駒澤大学教授 萩原 建次郎	①9/26 ②10/6 ③10/14 ④10/20	①14人 ②9人 ③5人 ④17人 計45人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所に必要とされる「空間」について専門家と実践者に話を聞き、参加者それぞれのフィールドに合った居場所空間のつくり方を見出す連続講座を実施した。</li> <li>①「居場所と呼ばれる”場”のつくり方</li> <li>②「子ども、旅人、地域、多世代多国籍の居場所」（見学先：CASACO）</li> <li>③「遊び心の共有～子どもの楽しい”場”のつくり方」（見学先：片倉うさぎ山プレイパーク）</li> <li>④「子ども・若者の居場所で大人ができること～居場所を感じる空間～」</li> </ul>

事業名 <>は事業の柱名	実施日	参加人数	備考
<b>&lt;利用促進事業&gt;</b> <b>夏休み事業「きずな★夏祭り」</b> ・参加費：無料 ・横浜市町内会連合会（横浜市民局）共催 ・青少年ボランティア ①事前研修会 ②事前準備 ③④本番（2日間）	①8/3 ②8/16 ③8/17 ④8/18	①24人 ②27人 ③30人 ④20人 ※参加者 823人	・青少年育成団体および保護者等への育成センター利用PRと、子どもたちが町内会の仕事を体験することで、自分の住むまちに愛着を持てるようになることを目的に実施した。また、高校生・大学生を中心とした青少年にボランティア活動の機会を提供した。
<b>&lt;スキルアップ講座&gt;</b> <b>「豊かな人間関係につなげる-コーチング入門講座」(全2回)</b> ・講師：川本正秀氏（共育コーチング研究会） ・参加費：3,000円（2回）	①10/11 ②10/18	①27人 ②26人 計53人	・コーチングの手法を学ぶことで、子ども・若者の潜在的な力を引き出し、青少年支援活動を充実していく講座を実施した。
<b>「コーチング入門講座 ステップアップ研修」</b> ・講師：川本正秀氏（共育コーチング研究会） ・参加費：2,000円	10/25	16人	・今年度ならびに昨年度受講者を対象に、各自の実践の中で出てきた課題を洗い出し、さらに日常的に使えるスキルとしていくためのステップアップ講座を実施した。
<b>&lt;ユースコーディネーター養成研修&gt;</b> <b>「ユースコーディネーター養成研修」</b> ・講師： ①守田 洋（よこはまユース事業課長） ②石神 光（横浜中央児童相談所） ③樋渡弥子（県警本部少年相談・保護センター） ④水谷裕子（NPO法人アモンドコミュニティネットワーク） ⑤参加者ふりかえりの会 ・参加費：2,000円	①3/1 ②3/8 ③3/15 ④3/22 ⑤3/29	①14人 ②20人 ③23人 ④22人 ⑤5人 計84人	・青少年を取り巻く現代の課題について知り、青少年を地域や相談機関などの社会資源につなぐことができる人材を養成することを目的に実施した。 ①子ども・青少年の課題を知り支援機関につなぐ ②児童相談所の仕組みと大人の役割 ③子どものサインを見逃さないために ～非行防止と早期発見 ④課題を抱える子ども・若者のサポートの現場から ～傾聴によるこころの支援～ ⑤参加者による研修のふりかえりと意見交換会
<b>&lt;青少年に関わる人材ネットワークの拡充と既存ネットワークとの連携強化&gt;</b> <b>「第4回 横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」</b> ・参加費：500円 ・会場：さくらリビング	2月25日実施	67人	・青少年に関わる活動を行っている団体が集まり、課題共有や意見交換を行った。育成センターは実行委員会を支援し、事務局として広報や参加者取りまとめや当日運営を担った。 ・実行委員会全6回実施 ①6/15 ②9/2 ③10/4 ④11/6 ⑤12/8 ⑥1/11 ⑦2/24
<b>&lt;専門研修&gt;</b> <b>「こどもの事故は予防できる」</b> ・講師： ①稲坂 恵 （日本セーフティプロモーション学会理事） ②橋本 ミチ子 （NPO法人横浜にプレイパークを創ろうネットワーク代表） ・参加費：2,000円	①3/9 ②3/20	①14人 ②13人 計27人	・救急法など事故が起きてからの対応ではなく、事故が起きないようにするための発生予防や子ども自身が自分の命を守る予防方法について専門的に学ぶ機会を提供した。 ①こどもの事故は予防できる ～傷害の発生をよぼうするためには？～ ②こどものあそびと生活のリスクとハザード ～プレイパークでのリスクとハザード研修から学ぶ～



平成29年度 横浜市青少年育成センター保守点検計画および報告(4~11月)

○建築物の保守管理

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
内部仕上げ	壁面・天井・床・等	目視点検	1日1回以上		育成C

○空調・電気・消防設備等保守点検

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
空調設備	外観の状態	目視点検	1日1回以上		関内H
	自動運転盤の異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	電流値の適正	目視点検	1日1回以上		関内H
	モーターの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	回転音異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ファンベルトの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ドレンパンの異常の有無	目視点検	月1回		関内H
	フィルター汚れ	点検・清掃	月1回		関内H
電気設備	受電設備	年次点検	年1回(9月)		関内H
	配電設備	年次点検	年1回(9月)		関内H
	蓄電池設備	年次点検	年1回(9月)		関内H
消防設備		機器・総合点検	年1回(9月)		関内H
	防火対象物定期点検	総合点検	年1回(9月)		育成C
中央監視装置		本体・制御点検	年1回(7月)		関内H
エレベーター設備		月例点検	月1回	—	関内H
自動ドア設備		定期点検	年2回(6,9月)		関内H

○環境衛生業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
環境衛生管理	空気環境測定		年3回(奇数月)		関内H
	水質検査		年1回(8月)		関内H
	害虫駆除	薬剤散布等	年1回(8月)		関内H
	受水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)		関内H
	残留塩素測定	試薬による点検	1日1回		関内H
	高置水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)		関内H
	雑排水槽清掃	物理的清掃	年1回(8月)		関内H
	排水管清掃				関内H

○備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績	分担
事務備品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C

○清掃業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
日常清掃		日常清掃	1日1回以上		関内H
定期清掃	床清掃(洗浄・ワックス塗布)	ワックス塗布	年3回		関内H
	照明器具清掃	照明器具、排気口清掃	年1回		関内H
	ガラス清掃	ガラス清掃	年3回(奇数月)		関内H

○保守管理業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
常駐警備		巡回警備	1日4回以上		関内H
機械警備		セコム	毎日(夜間)	警戒警備	関内H

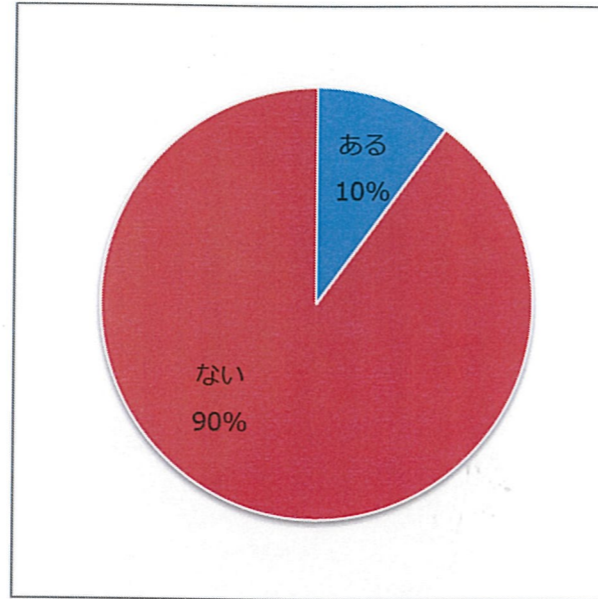


## 平成 30 年度利用者アンケート集計結果

いつも横浜市青少年センターをご利用いただき、ありがとうございます。  
 また、アンケート期間中は回答にご協力いただき誠にありがとうございました。  
 お陰をもちまして、94 件の回答をいただくことができました、  
 育成センターの機能についてお寄せいただいたご意見を次のようにまとめました。  
 ※集計に未記入は含めません。 (アンケート期間：2019 年 3 月 1 日～3 月 31 日)

### 2. (1) 育成センター主催の研修・講座に、参加したことがありますか？

ある	9	10%
ない	81	90%
未記入	5	
計	95	100%



どんな研修・講座に参加したい  
 と思いますか。

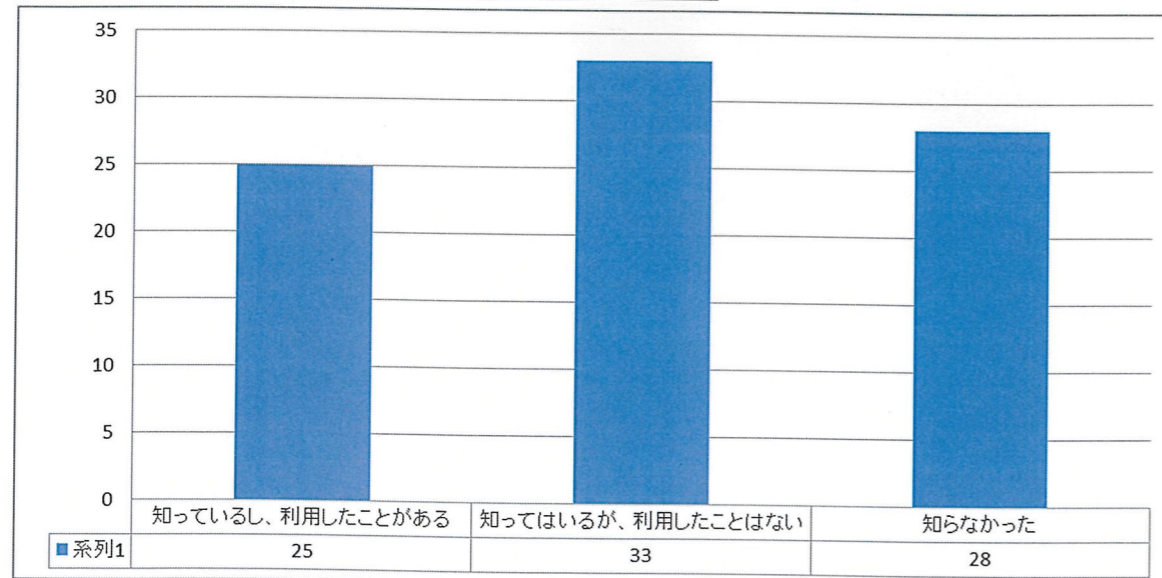
アドラー心理学、幸せに生きる  
 音楽講座  
 文化活動講座

### (2) ホームページでは研修・講座や空き室状況の情報発信を行っていることを知っていますか。

知っているし、利用したことがある	25
知ってはいるが、利用したことはない	33
知らなかった	28
未記入	9
計	95

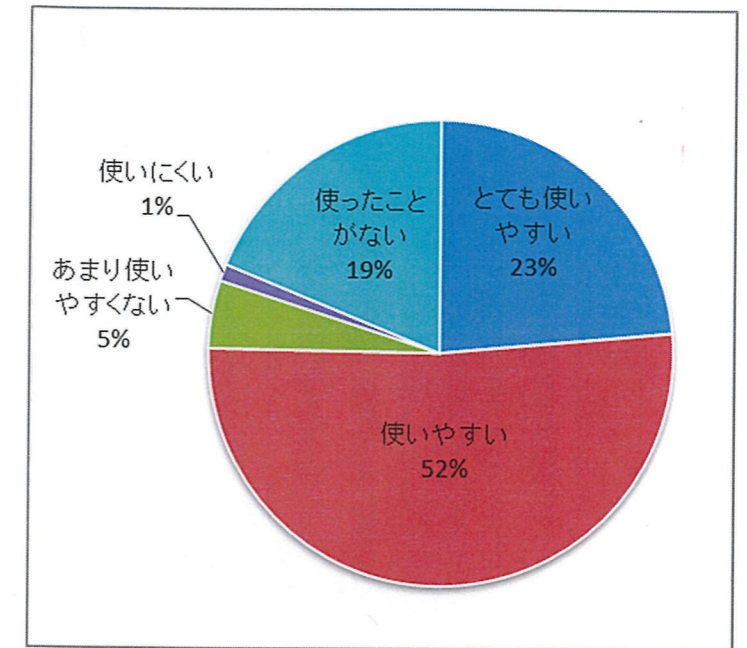
どんな情報が必要ですか

空き室情報更新を頻繁にしてほしい。  
 休館日情報を目立つように表示  
 空き室状況



### 3. (1) 育成センターの設置機材や貸出機材は使いやすかったですか？

とても使いやすい	20	24%
使いやすい	44	52%
あまり使いやすくない	4	5%
使いにくい	1	1%
使ったことがない	16	19%
未記入	10	
計	95	100%



### (2) 上記質問の回答理由をご記入下さい。

<とても使いやすい>

- ・大きい鏡があるから ・貸し借りが簡便
- ・施設が充実している ・清潔
- ・対応が親切 ・使い方が分かりやすい
- ・機材が使いやすく、部屋が広く、譜面台が用意してあるから

<使いやすい>

- ・使いやすいが、知らぬ間にエフェクター機能のスイッチが入っていることがあり、よくわからなかった。
- ・配線など最初戸惑った。テレビ裏面 DVD 接続コードの 3 色が分かりにくいのでカラーテープでも貼ってほしい
- ・使いやすく、セッティングしやすい
- ・ドラムパーツ類の故障対応希望・メンバー全員が鏡を使用でき、フォーム矯正しやすい
- ・ポットや台所を借りるがきちんとしていて使いやすい
- ・新しくなってよかった ・スタッフの方からのアドバイス
- ・色々な機材が揃っている ・使い方に慣れた ・ポピュラーな機種である
- ・機材が揃っている ・手軽 ・無料で使用できるから
- ・きれい ・ハンドマイク、アンプの操作が楽
- ・きれいに設置されて使いやすい
- ・給湯室や洗面所がいつもきれい ・パワポの設置方法まで教えてもらい助かった

<あまり使いやすくない>

- ・ピアノが電子ピアノになってしまったのが残念
- ・入室時、室内が真っ暗なので点灯スイッチが分かりにくい。
- ・アップライトピアノと電子ピアノとでは音の響きが違うため合唱と合わせにくい。

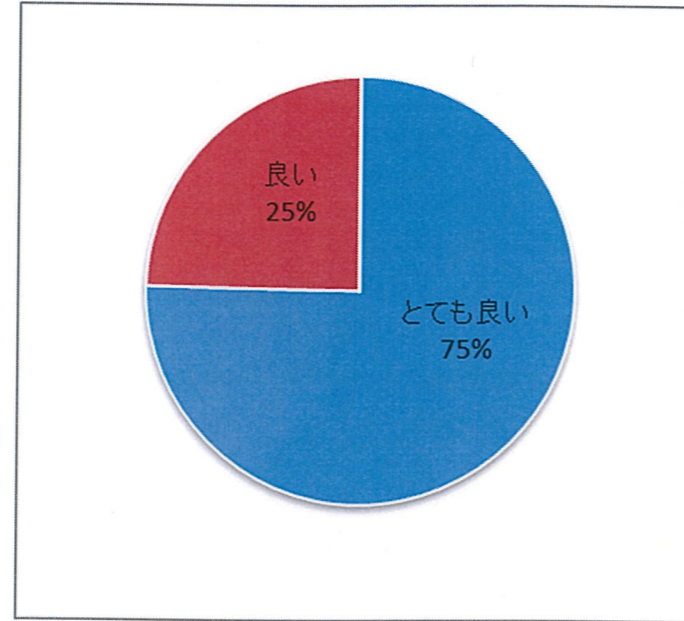
<使ったことがない>

- ・ホワイトボード以外使用しない。 ・必要がないため



4. (1) 受付窓口についてお伺いします。職員の対応（話し方、要望への対応）はいかがでしたか？

とても良い	67	75%
良い	22	25%
普通	0	0%
あまり良くない	0	0%
良くない	0	0%
未記入	6	
計	95	100%



(2) 上記質問の回答理由をご記入下さい。

<とても良い>

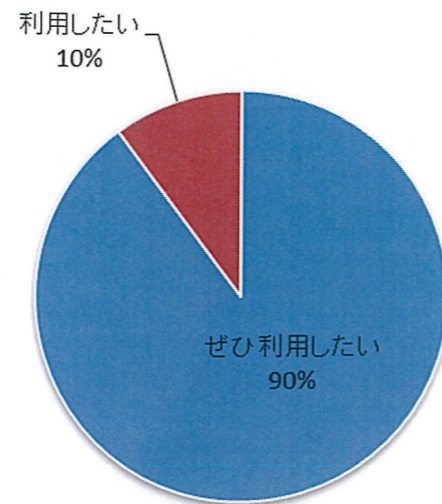
- ・あいさつ
- ・いつも感じがよい
- ・受け答えが良い。対応が円滑
- ・手際よい
- ・機材の取り扱い説明が丁寧
- ・優しい
- ・利用が初めてだが、使い方の説明が優しかったから
- ・親切、丁寧
- ・常に気持ちよく対応
- ・笑顔で対応くださるので・何度も同じことを聞いてこないから
- ・急に来たのに色々教えてくださった
- ・職員の対応が素晴らしい

<良い>

- ・いつも丁寧に对应してくれるから
- ・笑顔で対応してくれるから
- ・気持ち良い対応だから
- ・人により若干の違いあり

(3) 今後も当センターを利用したいと思いませんか。

ぜひ利用したい	80	90%
利用したい	9	10%
機会があれば利用したい	0	0%
あまり利用したくない	0	0%
もう利用したくない	0	0%
その他	0	0%
未記入	6	
計	95	100%



(4) 当センターに対する要望やお気づきの点があればご記入下さい。

Wi-Fi や wimax2 の設置を希望

そうじができるモップがあると助かります。

決まった曜日の活動のため3か月前の同曜日予約をしたい

もう少し長期間で予約が取れるとよい

予約期間を3か月から6か月に延長希望

壊れた機材を早く修理してほしい

和室のふすま、他の団体が使わないなら外したまを希望(子どもの安全のため)

トイレの案内を分かりやすくしてほしい

トイレの改修

和室に炉を切ってほしい。国際交流にも役立てることができるだろう。

キャンセル時の発番の取り組みは良いと思った。

駅近・安価でよい。

料金も安く大変良いのでこのままで体制であってほしい。

現在のままで良い。

※優先順位をつけ、対応可能な要望は速やかに行ってまいります。

体系	項目	自己評価
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与 諸室および物品の貸出	<p>関内ホールの改修工事に伴う一時移転により8月以降から利用者の減少が見られた。アンケートによる利用者満足度は高水準を維持できているので、関内ホール復帰後には活気が取り戻せるように、広報や講座・研修などの事業展開を工夫していきたい。</p> <p>また、幅広い世代や多様な団体の活動や研修を支援できるよう、貸出機材や貸室の活用方法などの改善に取り組んでいきたい。</p> <p>・28年度：利用件数 5,033件／利用稼働率 74.3% ・29年度：利用件数 3,408件／利用稼働率 62.1%</p>
	え 相談・助言 相談・コーディネート 情報提供（情報コーナーの運営）	<p>相談対応できる内容の整理と積極的な相談窓口のPRを行っていききたい。年々、相談件数が減少しているのは、窓口があったとしても「何を相談できるのか？」というように相談対応の具体的な内容が見えてこないというのも原因かと考える。また、電話や窓口だけではなく、メールやSNSなどの活用も視野に入れた取組みも検討したい。</p>
		<p>現在、HP等を通じて情報発信を行っているが、実用的な情報が提供できているかは不明である。誰に対してどのような情報を発信していくのかを再検討し、発信する情報を整理したい。SNSなどを積極的に活用してリアルタイムな情報発信にも取り組みたい。</p>
B 青少年を支える人材を育成する事業	課題解決に結び付けることができる人材の育成	<p>青少年課題の理解と青少年に必要な資源につなぐ人材の育成として「ユースコーディネーター養成研修」を実施。児童虐待や問題行動への対応など、最近の話題に対応した内容だった。しかし、ここ数年内容が固定化されているので、研修内容の再検討も行いたい。</p>
	い 講座・セミナー・育成 人材のすそ野を広げるための講座・研修 人材育成のためのネットワークの形成 活動充実のための研修事業 青少年育成活動の担い手の養成	<p>「青少年の居場所づくり講座」「発達障がい理解」「コーチング入門講座」「デジカメ写真入門講座」を実施。「発達障がい理解」に関しては応募者も多くニーズの高さが伺える。しかし、近年では色々な場所で実施されるようになったので、更に青少年育成者のすそ野を広げていくためにも、新しいテーマの研修も開拓していきたい。</p>
		<p>よこはまユースゼミは、テーマやゲストスピーカーによって参加人数に大幅な偏りがあった。「子ども食堂」をテーマにした時は参加者も多く、世間の関心の高さを知ることができた。目的は人材のネットワークなので、ある程度核となる人材を集めて、小規模の勉強会から拡散し波及していくような展開を考えても良いかと思う。</p> <p>大交流会に関しては、今回も4割近い新規参加者・団体があり、新たな繋がりを作る場を提供できたかと思う。</p>
		<p>ステップアップ研修は「コーチング入門講座」、専門研修は「こどもの事故予防」をテーマに2回実施。専門研修は今年度新規事業ではあったが、参加者が振るわなかった。類似研修が多くあるので、差別化が図れるように、研修テーマや広報先などを再度見直し青少年育成者のニーズに対応できるようにしたい。</p>
		<p>高校生を中心とした若者が、自治会活動などの地域活動に触れ、地域を知る機会として「ユースチャレンジ（きずな夏祭り）」を実施。50人の高校生や大学生等が参加し、近隣の自治会の方々や行政の方々と共に夏祭りを作り上げた。単なる若者のボランティア体験の場にならないように事業展開を行っていききたい。</p>

## 平成29年度 横浜市青少年育成センター 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	45,426,000		45,426,000	40,423,856	5,002,144	横浜市より
利用料金収入	2,296,000		2,296,000	1,551,600	744,400	施設利用料金収入
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	998,000		998,000	1,080,222	82,222	講座・研修参加費ほか
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 ( )	0		0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>48,720,000</b>	<b>0</b>	<b>48,720,000</b>	<b>43,055,678</b>	<b>5,664,322</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>25,543,000</b>	<b>0</b>	<b>25,543,000</b>	<b>26,312,577</b>	<b>769,577</b>	
給与・賃金	21,193,000		21,193,000	21,586,376	393,376	役員報酬含む (施設連携事業費2,923,430-含む)
社会保険料	3,200,000		3,200,000	2,267,840	932,160	(施設連携事業費511,195-含む)
通勤手当	714,000		714,000	308,274	405,726	(施設連携事業費 -含む)
健康診断費	50,000		50,000	31,346	18,654	(施設連携事業費 -含む)
勤労者福祉共済掛金	36,000		36,000	18,000	18,000	(施設連携事業費 -含む)
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000	2,100,741	1,750,741	
<b>事務費</b>	<b>447,000</b>	<b>0</b>	<b>447,000</b>	<b>252,336</b>	<b>194,664</b>	
旅費	0		0	0	0	
消耗品費	303,000		303,000	152,049	150,951	ウイルスソフト、封筒
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	47,000		47,000	70,013	23,013	名刺印刷等
通信費	7,000		7,000		7,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	70,000		70,000		70,000	防災設備用品、事務用備品
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	8,350	11,650	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	0		0	21,924	21,924	給与振り込み等に係る手数料
リース料	0		0	0	0	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
<b>事業費</b>	<b>7,124,000</b>	<b>0</b>	<b>7,124,000</b>	<b>6,774,453</b>	<b>349,547</b>	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	7,124,000		7,124,000	6,774,453	349,547	教室 (講座) 事業、チラシ印刷、相談事業、活動支援事業、調査研究費
自主事業費	0		0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>13,416,000</b>	<b>0</b>	<b>13,416,000</b>	<b>8,052,665</b>	<b>5,363,335</b>	
光熱水費	0	0	0	309,095	309,095	*施設負担金として、設備保全費に一括計上 (関内ホール)
電気料金	0		0	309,095	309,095	仮施設に係る電気代
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	0		0	0	0	
清掃費	0		0	0	0	
修繕費	500,000		500,000		500,000	
機械警備費	0		0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上 (関内ホール)
設備保全費	12,916,000	0	12,916,000	7,743,570	5,172,430	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	50,000		50,000	0	50,000	防火点検委託費
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	12,866,000		12,866,000	7,743,570	5,122,430	施設負担金、廃棄物処理費、調律費 (関内ホール 第3四半期分含む)
共益費	0		0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>2,100,000</b>	<b>0</b>	<b>2,100,000</b>	<b>1,700,000</b>	<b>400,000</b>	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	2,100,000		2,100,000	1,700,000	400,000	消費税
印紙税	0		0	0	0	
その他 ( )	0		0	0	0	
<b>事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>90,000</b>	<b>0</b>	<b>90,000</b>	<b>27,497</b>	<b>62,503</b>	
本部分	0		0	0	0	本部管理経費
当該施設分	90,000		90,000	27,497	62,503	会計システム保守料、動産保険
<b>二一ズ対応費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>48,720,000</b>	<b>0</b>	<b>48,720,000</b>	<b>43,119,528</b>	<b>5,600,472</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>63,850</b>	<b>63,850</b>	

自主事業費収入	998,000			1,307,237		
自主事業費支出	6,900,000			7,966,723		
自主事業収支	5,902,000			6,659,486		

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

## 育成センター職員研修 参加一覧

### (1)外部研修

	実施日	内 容	場 所	参加者
1	6月8日	施設管理者を対象とした出前研修	保土ヶ谷スポーツセンター	本田
2	6月21日	第1回よこはま東部地域若者支援連絡会	東部ユースプラザ	平野
3	6月21日	施設保全研修	市庁舎	本田
4	9月8日	水まわり器具のメンテナンスセミナー	水道局菊名ウォータープラザ	伊藤
5	1月30日	伝わるチラシの作り方	県立青少年センター	本田
6	2月9日	施設が活きる！人が集まる！効果的な広報	県立青少年センター	伊藤
7	3月5日	中区一時帰宅困難者訓練	マリナード地下街	平野、本田

### (2)法人内部研修

	実施日	内 容	場 所	参加者
1	1月31日	人権研修	松栄関内ビル(育成センター)	職員全員